

IT21の会（平成20年7月）第122回例会議事録

日時: 2008年07月05日(土) 15時00分-17時00分

場所: 葺手第2ビル5階 C

出席者: 17名

配布資料:

- ・0807-0 (社)日本技術士会CPD行事参加票
- ・0807-1 IT21の会 11期一般会計収支報告書
- ・0807-2 デジタルアート(Digital Art)
- ・0807-3 外部発信アンケートSNSコミュでのご意見
- ・0807-4 情報工学部会と情報処理学会とのCPDコラボ
「要求の背景を探る(講義と演習)」開催のご案内

議事:

1.議事及び資料確認(井口慎也氏)

2.第11期最終会計報告(田中令子氏)

- ・資料により会計最終報告。
- ・会計監査人より適正との報告あり。
- ・例会出席者全員の拍手により承認された。
- ・会計報告資料は、HP(会員用ページ)にアップする。

3.『デジタルアート創作入門』(井口慎也氏)

デジタルアートには、大別して2Dアートと3Dアートがあり、創作の観点から見ると、2Dアートはマウスを絵筆の様に使いPC上で絵を描く方法、一方、3DアートはPC上に仮想世界をつくりそれを仮想的なカメラで撮影する方法とすることができる。

本講演は、3DCGについて、アイデアの創出から各種ツールを用いた製作方法、そして各種CGコミュニティへの投稿に至るまで一連の流れの説明であった。

- コンセプトの着想が大事である

- コンセプトは身近なものや好きなキーワードから。
- 普段から新聞の写真をスクラップしたり、例えば、1日10分、イメージスケッチをするだけでも発想力が向上する。
- 3DCGは、仮想3次元空間を仮想カメラで撮影して2次元画像にしたものであり、出来上がったものをポストプロセス(修正・合成・加工)で作成へ仕上げる。
- 仮想空間とは演劇の舞台のイメージである。
- オブジェクトはプリミティブ→ポリゴン→自由曲面の順で複雑になる。

Q)ポリゴンは構造計算で用いる有限要素法と似ているが？

A)通常は構造力学まで考慮してオブジェクトを作成しないが、ハリウッド等のCGではそういうことまで考慮している。ボリウム・メトリックという。

- 光源によっても見え方が違う。
 - 例えば並行光は昼間の感じであり、環境光は室内の感じ。
- 遠くの背景はビットマップを貼り付ける場合もあるが、最近は環境球を使用するのが主流。
- 光の伝達方法をシュミレーションする。
- SaaSで計算してくれるサービスもある。
- 3DCGといっても基本は「絵」なので、構図・空間・陰影が基本。

Q)オブジェクトの「安定感」は計算できるのか？

A)そのような計算はできない。

- 今回のプレゼンで使用したものの製作日数は5日程度。
 - 作りたいものから作り、PDCAサイクルで廻す。
- モデラーと呼ばれるツールでオブジェクトを作成
 - Metasequoia <http://www.metaseq.net/metaseq/>
- レンダラーと呼ばれるツールでテクスチャやシーン構成、レンダリングを行う。
 - Vue 5 Infinite <http://content.e-frontier.co.jp/e-on/>
- ツールを選ぶときのポイントとしては、周りに利用している人がいるソフトだと、分からないことが聞けて良い。

Q)カシミールとのデータ互換は？

A)無い。ただし、カシミールで出力したビットマップを標高データとして読み込むことは可能。

Q)著作権で気をつけることは？

A)他の作者のオブジェクトを使用する場合、ネット等で公開する際は出典を示す。

- ツール以外の部分は「感覚」「理論」であり、デッサンで客観性を磨く。
- 参考図書としては、CG関連だけではなくリアルの絵に関するものも読む。

Q)小学生向けのお勧めは？

A)テディというソフトがお勧め。

<http://www-ui.is.s.u-tokyo.ac.jp/~takeo/index-j.html>

- 井口氏の作品
 - Infinte Torus: <http://shinya.mods.jp/private/>
 - デッサン100枚: <http://blog.shinya.mods.jp/>

4.『IT21の会としての外部発信コンテンツの検討』(加納幸博氏)

外部に対してどのようにアピールしていくかディスカッションを行った。

- 技術士CPD講座は黒澤氏が担当しているので、IT21の会協賛という方法も考えてみたらどうか。
- 既存のサービスを利用してアピール
 - Yahoo!の「みんなの検定」でITに関する検定を作成・公開してみる。
<http://minna.cert.yahoo.co.jp/>
 - All Aboutの「専門家に聞く」のコーナーに専門家として登録してみる。
<http://profile.allabout.co.jp/ask/>
- ブログで情報発信
 - IT21の会のブログとなると、公開までに精査が必要と思われ、話題にタイムリーな公開ができるか？

- Wikipedia
 - 当会用にWikipediaを登録し且つ日本技術士会の外部リンクにIT21の会を追加してしまったらどうか。
- 英語版HP
 - 日本にいる外国人のためか、海外にいる人のためか、目的をはっきりさせたほうがよい。
- メールマガジンと言う手も有るがアドレス管理、応募者をどうするか等の課題も多し

5.役員からのお知らせ 委員募集(石井利教氏)

- 12期のHP、広報、合宿、レクリエーションの委員を募集する。
- 今回募集するのは補助委員である。
- MLは別途募集する。

6.情報工学部会と情報処理学会とのCPDコラボ(黒澤兵夫氏)

情報工学部会と情報処理学会とのCPDコラボとして「要求の背景を探る(講義と演習)」を8月23日(土)PM1に行う。

講演とワークショップにより、システムへの真の要求の背景を明らかにでき、且つ実務へ応用可能になることを体験できる。

詳細は次のHPをご参照下さい。

<http://www.ipej.net/>

7.初回参加者の自己紹介

山岸久修氏 自己紹介

以上(記載者:丸山成人)